

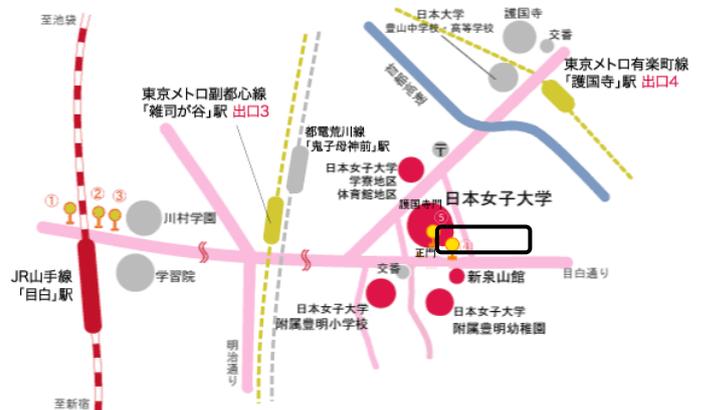
主催：応用物理学会 日本光学会 微小光学研究グループ
第 121 回微小光学研究会

「見えないものを見る微小光学」



日時： 2011 年 7 月 26 日(火) 10:00~17:10
会場： 日本女子大学 目白キャンパス 新泉山館
東京都文京区目白台 2-8-1
<http://www.jwu.ac.jp/grp/access.html>

交通： JR 山手線目白駅より徒歩 15 分
またはバス 5 分
・都営バス(学 05)日本女子大学行き
・都営バス(白 61)新宿駅西口、椿山荘行き
「目白駅前」乗車、「日本女子大前」下車
東京メトロ副都心線雑司ヶ谷駅より徒歩 8 分
東京メトロ有楽町線護国寺駅より徒歩 10 分



プログラム

10:00~10:10	開会の挨拶	
10:10~10:40	赤外線・THz アレイセンサーの応用例・画像例と動作原理	小田 直樹(NEC)
10:40~11:10	テラヘルツデバイスの開発とその生体センシング応用	尾内 敏彦(キヤノン)
11:10~11:40	テラヘルツ分光・イメージングによる文化財の非破壊調査	福永 香(NICT)
11:40~12:10	天文観測に用いる高感度テラヘルツセンシング技術	松尾 宏(国立天文台)
12:10~13:30	<昼食休憩 80 分>	
13:30~14:10	【特別講演】THz 波をつくる・THz 波でみる —THz 波発生から応用展開へ—	伊藤 弘昌(理研)
14:10~14:40	高感度ダイヤモンド深紫外線センサーとセンシング機構	小出 康夫(NIMS)
14:40~15:10	X 線光学素子と X 線位相イメージング	百生 敦(東大)
15:10~15:30	<休憩 20 分>	
15:30~16:00	位相コントラスト法を適用したマンモグラフィ	石坂 哲(コニカミノルタエムジー)
16:00~16:30	宇宙観測用半導体コンプトンカメラを用いたガンマ線可視化	高橋 忠幸(JAXA)
16:30~17:00	電子線を使う顕微鏡で見る微小世界	永田 典子(日本女子大)
17:00~17:10	閉会の挨拶	

参加費： 一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む、当日ご持参ください)

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

担当委員： 黒田 (東大)、片山 (福工大)、小川 (日本女子大)、河合 (能開大)、井藤 (NTT)

問合せ先： 福岡工業大学 工学部 電子情報工学科 片山 龍一

Tel: 092-606-3135 Fax: 092-606-0726 E-mail: r-katayama@fit.ac.jp

微小光学研究グループ

代表：伊賀 健一

副代表：後藤 顕也

運営委員長：黒田 和男

運営副委員長：波多腰 玄一

実行委員長：中島 啓幾

実行副委員長：横森 清

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。